

田中康夫の



33

Phony

「ふるさと納税なのに：謝礼、な
ぜ他の地域から？」と見出しを冠
し、「ふるさと納税の謝礼品に他
の地域の特産品をそろえている事
例」を1月7日付「朝日新聞」が

るが、全国的な知名度は今ひとつ。
一方で友好都市の南魚沼市は全国
屈指の米どころ。「知名度のある
南魚沼市の力をお借りした」ら、
「2014年度は約300万円だ
った寄付が、15年度は12月までで
約470万円に伸びた」と市政策
企画課長は胸を張ります。

石川県能登町と宮崎県小林市は
「海産物に強い能登と、畜産業が
盛んな小林の強みを生かし」、カ
ニと牛肉を盛り合わせた「姉妹都
市セット」を謝礼品に加えました。
「全国から問い合わせがあり、両
市町とも寄付は14年度を大きく上
回る勢い」。が、疑い深い僕は、
そのカニは本当に、能登半島の漁
港に水揚げされた代物であろうか
と訝つてしまいます。昨年7月号
の拙稿でも触れたNHK福島放送
局の報道「試験操業ことし初水揚
げ」を想起させるからです。

「原発事故の影響で自粛が続く相
馬市沖で震災後では初めてとなる
ズワイガニを始め2トン余りが水
揚げされ」、「福島県に拠りますと
震災前、松川浦漁港でのズワイガ
ニの水揚げは年間200トンと太
平洋側の港では全国で最も多く、
首都圏や北陸地方での需要もあつ

たということ、相馬双葉漁協で
は16日に水揚げされたカニを金沢
市や富山市等に出荷することにし
ています」と2013年1月16日
に報じたものの、直ぐにHPから
削除されたニュースです。

閑話及第。ふるさと納税は本来、
地域住民に根ざした行政サービス
を行う自律的な自治体を支援する
制度だった筈。なのに、ソフトバ
ンクグループの(株)さとふるを筆
頭に「ふるさと納税ポータルサイ
ト」運営会社へ、自治体から事務代
行費用が支払われる、本末転倒な
「クーパーン」競争と化しています。

文芸評論家の江藤淳氏は、評価
し得ぬ作品を一刀両断する際、
「フォニー」の惹句を用いました。
電話回線を通じて聞こえる音声は、
当人の声だと識別可能ではあるも
の、目の前で喋っている「リア
ル」な声ではないように、Pho
nyとは紛い物を意味します。

中央省庁の地方移転こそ行政改
革と意気込む面々が居ます。具体
的に省庁名を挙げて移転を要望す
る道府県も、観光庁に北海道と兵
庫県。特許庁に長野県と大阪府。
気象庁に三重県。文化庁に京都府。
総務省統計局に和歌山県。消費者

庁に徳島県。それなりの盛り上
りを見せています。

が、閣議決定に基づき、東京か
ら機能移転を図るべく旧国鉄大宮
操車場跡地に2000年、中央省
庁の関東地方並びに甲信越地方を
管轄する「出先機関」が一斉に移
転した「さいたま新都心」が、地域
経済に計り知れぬ好影響を及ぼし
たとの話は寡聞にして存じません。
消費者庁の正規職員定数は30

1人。同じく文化庁は236人。
総員が徳島より京都に赴任する訳
もなく、環境に留意する製造業の
事業所を誘致する方が賢明かも知
りません。国会開会中、本会議や
委員会での答弁、質問主意書への
回答に備えて東京で待機すべく税
金から支出される交通費や宿泊費
が「経済効果」となるのかな。

夢想していると、とある選挙プ
ランナーが教えてくれました。長
野も三重も、そして高知と合区の
徳島も、それなりに野党が強い参
議院1人区。北海道と京都も同様。
ウーム成る程。デビッド・ロイ
ド・ジョージ内閣が1918年に
「クーパーン選挙」なるフォニー総
選挙で批判を浴びた轍を踏まぬよ
う、願うや切です。

報じました。

新潟県南魚沼市の日本酒、みそ、
スイカ等を「謝礼品のメニュー」
に加えた埼玉県坂戸市。「和菓子
や果物など昔ながらの特産品はあ

★次号の9月号の発行日は2月28日(第4金曜日)です。